筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会

研・学9条の会ニュース No.65 2019年8月発行







〒300-2667 つくば市中別府 591-7 電話/FAX 029-847-3884 (http://peace.arrow.jp/tsc)

2019 年 6 月 16 日、外交評論家・東アジア共同体研究所所長の孫崎 享氏を講師に招き、第 24 回講演と対話の集い「東アジアの平和と日本の安全保障」を開催しました。今回の集いは、憲法 9 条の会つくば・つくば市平和委員会・全日本年金者組合つくば支部・新日本婦人の会つくば支部・新しいつくばを創る市民の会の協賛を得、約 85 名の参加者がありました。

孫崎氏は、正しいことを正しいと言わない国になっている日本を憂い、北方領土問題、駐留米軍問題、核の傘などを題材に、日本国民が当たり前と思っていることが実は当たり前でない事、報道されるべきことが報道されていない事、核時代の軍事戦略などについてお話し下さいました。最後に、今は憲法改正で極めて重要な時期に差し掛かっているとし、選挙での判断の大切さを訴えました。

孫崎氏の講演の概要と主な質疑を掲載します。なお、講演の詳細は研学9条の会のホームページをご覧ください。

孫崎氏の講演概要

2+2が4であると言わない国、日本

わたしたちは今「『正しいことは正しい』と言わない国」になったのではないかと思います。学術都市つくばに来て聞くのはあまりにも失礼なんですけれど、2+2 はいくつなのでしょう。もちろん4です。しかし、論理的に2+2=4という国になっているのでしょうか。原発に関すれば、原発が大丈夫だという水準よりも遥かに大きい震動が来ているんですね。だから地震がある日本国において、原発を作るというのは無理、2+2 は 4 なんです。だけど現実は 2+2 は 4 じゃないんですね。

その問題を見事に書き出したのが、「1984 年」(George Orwell)という本なのです。これはぜひ読んでみてください。ソ連と全体主義を想定して、全体主義とはどういう状況なのかを書いた本です。「1984 年」の社会では、2+2 が4 ではない、最高指導者が3といえば3、そしてある日突然5と言ったら5、1950 年代に1984年という未来を想定して書いた本です。

私、これ今の日本だと思っています。北方領土の問題で、 外務省は4島返還論を述べていたのですけど、戦後の日本 は「国後・択捉が日本領」という根拠は持っていないのです。 日本はポツダム宣言を受諾して戦争をやめました。そこに は「日本の主権は本州・四国・九州・北海道とする。その他 の島々は連合国が決めるものに限る」と書いてある。「日本 固有の領土」と言ってますけど、ポツダム宣言を受諾すると きに「おかしい、こんなものは呑めない」と言った人はいな いんですよ。戦争を止めることのほうが重要だった。



それだけではない。サンフランシスコ講和条約に「日本は千島列島を放棄する」と書いてあり、その時の吉田首相は国後・択捉は千島だと言っているんです。千島を放棄すると言って署名した人間が、「千島には択捉・国後が入ってる」ということを言えば、もう根拠は無いんです。2+2 が 4 になっていないんです。



安倍さんが突然、歯舞・色丹先行論というのを出してきました。今まで 4 島だと言っている人が、安倍さんが言い始めたらみんなこっちに来るんですよ。「われわれ 60 年間に渡って 4 島 4 島と言って来たのだけど、今までの方針と違うではないか」、「今までの方針はおかしいから」と、どれく

らいの人が言いました?-言わないのですよ。だから、今の日本は2+2=4と言える国ではない。安倍首相が3と言ったら3、そしてある日突然5と言ったら5と言う国、そういうものに成ってしまったのではないかと思います。



聞くに値する言葉が聞けなくなっていく

「どんなに軽蔑されても、人の命で戦ってはいけません」-これは誰が言ったのでしょう、ご存じの方?(誰も知らない)。ではこのセリフは聞くに値しないと思う方?(挙手なし)。これ、2015年10月11日に画家の堀文子さんがNHKのEテレで述べたセリフなんです。NHKで述べたとしても、それが重要であるとすれば、どこかで活字になるべきでしょう。皆さんがご存知でないとしたら、どこも活字にしなかったんです。

「・・・近頃かなり物騒な世の中になってきた。戦後の日本は平和国家だと言うが、たった一日で平和国家に生まれ変わったのだから、同じく、たった一日で、その平和国家を守るという名目で軍事国家、つまり、戦争をする国にだってなりかねない。気がついたとき、二者択一などと言っていられない・・・」―誰が言ったかご存知の方?(挙手なし)。野坂昭如さんが亡くなる直前にラジオで述べたセリフなんです。耳を澄ますと、たしかに何処かで誰かが囁いているんです。それは多くの国民が知っていい囁きなんです。だけどそれはもう聞けない国になっている。簡単です、それを報じたら安倍さんが困るだろう、そういう国になってしまった。

米軍が日本にいるのは当たり前のこと?

日本の政治、騙すことによって動いている。その騙すことの一番が安全保障の問題だと思います。外国軍がいることによってその国が守られるということは殆ど無いんです。私、ウズベキスタンに大使として行ったんですけど、ウズベキスタンが独立して一番最初にやったことは、ロシア軍出て行けだったんです。実際にロシア軍は出て行きました。周りには中国・インド・パキスタンがありイランもある。これらの国が入ってこないように、ロシア軍にいてもらおうという議論は無かったんです。

独立国に外国軍はいないという、当たり前の論理が日本には無いんです。ポツダム宣言には、日本がちゃんとした国になったら占領軍は撤退すると書いてあるんです。占領軍が撤退するのは当然のことなのですが、いつの間にかこの国はアメリカに守ってもらうということが蔓延してしまった。少し考えればそれがおかしい事は分かるんです。米軍がいるのは、世界戦略のために日本の基地を使うためにいるのです。

支払い義務のない思いやり予算、それだけあれば できる事は・・・

日米安保条約があって、その下に日米地位協定というのがあります。日米地位協定で、日本は米軍経費をどのくらい払わなければならないと書いてあるか。ゼロなんです。思いやり予算は、義務でないから思いやりなんですよ。地位協定は、「米軍経費は米軍が払う」と書いてある。それを、基地で働いている日本人の給料が、円高になってドル換算すると増える分を、金丸信さんが思いやって払ってあげたのが思いやり予算なのですね。それが、いつの間にか義務になっているんです。100% 払うことが正しいという事になっている。

数年前ですが、日本が米軍経費に払っている経費は 7612 億円。ドイツが 1876 億円、韓国が 1012 億円、・・・。もし、日本がせめてドイツ並み―ゼロにしろとまでは言わない―にしたら、約 5000 億円浮くんです。 5000 億円浮くとどういう事になるのか、大学無償化のために掛かるお金は国公立大学で 4168 億円、小中学校の給食無償化にすれば 4726 億円なのです。 20 代の人たちは安全保障に関係がないと思っているようだけど、「ドイツ並みの基地負担にすれば国公立大学は無償化」という選択があると言えば、多分違うんじゃないかと思います。

安倍首相の米・イラン関係仲介外交の失敗

イランのハメネイ師は、トランプと話すつもりは無いと言っている。ということは、安倍さんが行ったのは失敗したんですよ。仲介外交と言っても、なんの意味もない。Wall Street Journal が何と書いてあるかというと、「新参者がのこのこ出かけて痛い目にあった」と書いたんです。これを知っている人?。日本でそういう記事が出なきゃいけないのに、出ていない。たぶんこれから安倍さんの中東訪問のことは出てきませんよ、失敗したんだから。

なんでイラン訪問したのか。離脱したのはトランプなのだから、「トランプさん、あなたが離脱するのはおかしい」と言うなら、これは意味がある。フランスの大統領・ドイツの首相はそれを言っている。アメリカが守るなら自分も守ると言っているのがイランですから。

ハメネイは、トランプを相手にしないと言ったと同時に、「あんたの国はアジアで相当の大国だから、もう少し毅然としたらどうですか」と言っている。これを知っている人--知らないでしょう、報道しないんだから。2+2=4 じゃない

よ、この国は。安倍さんに都合の悪いことは書かない。

米軍 vs 中国軍の能力比較



米中が核兵器を使わないで台湾正面で武力紛争をしたとします。1996 年、2002 年には米軍が圧倒的に優位だったんです。2010 年にはほぼ均衡になって、2017 年には中国が優位ということを、アメリカで一番権威のある RAND 研究所が報告したんです。

中国は有人衛星を飛ばすような時代になってきましたから、ミサイルの命中精度がものすごく良くなったんですね。中国は、日本における米軍基地を攻撃しうる 1200 基のミサイルを有し、命中精度も向上している。滑走路をやっつけると、もはや米軍がいかに優秀な戦闘機を持っていても中国軍と戦えない。だから尖閣諸島周辺で仮に戦闘が起こったという状況の時には、米軍は中国に勝てない。私達は、アメリカに守ってもらっていると思っている。でも、アメリカに守る能力はもう無いんです。

核の傘が日本を守ってくれる?

多くの場合、日本人は核の傘があると言うけれど、核の傘は無いんです。核の傘とは「中国が日本を攻撃する・核を使うと脅す→日本は助けてくれと言う→アメリカはそんなことをしたら中国に核を撃つと言う→中国はやめたと言う」という概念です。これ、どこかに欠陥があるんです。中国に「私はあなたと戦争をしているわけでないのに、西安を撃つなら私はシアトルを撃ちます」と言われた時に、アメリカの政治家で「どうぞ」と言える政治家はいない。日本が重要だからシアトルがやられても良いと言う大統領はいないのです。だから核の傘は無いのです。

核兵器の時代の軍事戦略ーー相互確証破壊戦略

軍事は政治の延長で、相手を徹底的に潰すーーこれが第二次世界大戦前の軍事戦略だったんですね。これはかなり変わってきたんです。何が変わったかー核兵器なのです。今、 米ロ・米中を支配している基本的な軍事概念は、確証破壊戦略と言われています。

中国・ロシアが核兵器を使ったら、明日にでもアメリカは 全滅します。これをさせないためにどうするか--これが 起こった時にアメリカの原子力潜水艦から中国・ロシアに 核兵器を撃つ。するとこれも瞬時に無くなる。ということ で、均衡ができているんですね。

では、最初にアメリカから撃ってきたらどうなるか。中国が原子力潜水艦を持っていなくてやられるだけだったら、中国の選択はどうなるか。そこでアメリカの軍事専門家キッシンジャーやマクラマンの考えた事は、中国は「やられるかもしれないけど、アメリカに最初にやられるよりも良い」ということで先制攻撃をする可能性がある。この先制攻撃をさせないために、中国・ロシアにもこれを持たせて、「アメリカが攻撃をしても中国・ロシアはアメリカを全滅させる能力があるから、先制攻撃はしない」ようにする。今日の核兵器の時代は、「わたしがあなたを突き刺したら、わたしは必ず死ぬようになっています (だから突き刺すことはしません)」ということを言って、初めて均衡が保たれているのです。

北朝鮮の核兵器

ここで北朝鮮の問題を考えましょう。キッシンジャーの 北朝鮮政策とはこういったものです。1. 核兵器を持てる国 が、核兵器を開発しないで自分の政権・国家が滅亡すること を黙認することはない。2. 北朝鮮のような中小国は、核兵 器を使ったら確実に自分の政権・国家が無くなるというこ とを知っている。3. したがって、北朝鮮のような国に核兵 器を使わせない・持たせない最善の道は、その国の存続を脅 かさないという約束をすることである。

核兵器を持つ国は核兵器を持たない国を攻撃しない、という条項を入れることは非常に重要なことなんですね。これは1969年、日本が核不拡散条約に加盟した時に出ていた論なのです。「核保有国は非核保有国に核兵器を使わないと約束すること」と日本政府が言っていた。今、それをすっかり止めていますね。

キッシンジャーの論 - - 核兵器の開発・使用を止める唯一の方法は「あなたの国を軍事的に転覆させないと約束をする」事 - - は、今の米国の路線とは違うのですよ。本当の意味で北朝鮮の核兵器を止めるつもりはない。有ったほうがいいんですよ、むしろ。

ソ連崩壊と軍事環境の変化

今までの戦略論・訓練・武器、全てソ連と戦うということでやった。そのソ連が潰れて、もうアメリカと戦う意志がないと言った。その時アメリカはどうしたら良いだろうーーマクラマン国防長官が、「やるべき一番重要なのは対日本あるいはドイツだ、だから軍事費を経済に回して、経済でもって日本・ドイツと闘える国にしよう」と言ったんですね。しかし、パウエルら軍事専門家がそれに反対し、「世界最大の軍事大国になったのだから、これを維持して世界の宗主国的なものになっていこう」ということになった。

だけどアメリカ国民はそれでは必ずしも納得しない。敵 対国がいないなら軍事費は要らない、やるべき事は一杯あるのに、と。その時にどういう理論を持ってきたか、イラン・イラク・北朝鮮のような不安定な国々が大量破壊兵器を持つ虞があるのでこれと闘う、ということが 1992 年に出てきた。これらの国が核兵器を持つ動きをしても、アメリカを攻撃することまでは考えない。それでは平和が来てしまって困るから、アメリカの方から出かける。今までの国連憲章は「攻撃されて初めて軍事行動をとるべき」としたが、それが成立しなくなるから有志連合にする。

有志連合の中の日本と憲法改正

日本が軍事的に関与しないと経済に特化してしまい、アメリカがますます日本に押されてしまうので、日本を軍事に連れ出した。しかし、日本国内には平和を守れという人たちが沢山いるので、最初に自衛隊を災害救助・人道支援で海外で使う。そのうち日本国民は自衛隊を出すことに対するアレルギーが無くなる。アレルギーが無くなったところで、鍬や鋤を鉄砲に替えればいいんです。そして 2005 年に「日米同盟・未来のための変革と再建」という文書をやって、自衛隊をアメリカの戦力のために海外で使うということを決定するんです。

しかし、憲法があるとそれができないから、憲法改正と。 安倍さんの言っている自衛隊の尊厳のための憲法改正とい うのは全く嘘で、そんなことは重要ではない。自衛隊を海 外で戦わせる、そのために憲法改正する。公明党の言って いる加憲論のように、第3項で自衛隊を認めて「自衛隊は世 界の平和に貢献する」みたいなことを書いても1,2項を残し ておけば大丈夫だ、というのは欺瞞なんです。1,2項と3項 が矛盾すると新らしい条項のほうが優位に立つんです。

もう1つ、非常事態条項を入れる。日本の憲法は、国民の 安全を守るということが重要な価値なのです。それと戦争 を行なうということは両立しないんです。だから緊急事態 時には、憲法のある部分を停止する事ができるような体制 とする。

今、日本は極めて重要な時期に差し掛かっていると思います。これがそのまま行くのか、次の参議院選で自公が2/3を失うのか、ものすごく重要な局面に来ている。皆さんの判断にかかっていると思います。



主な質疑

- [Q] 憲法より上位に存在する機関とされる日米合同委員会に関わった経験はありますか。あるとすれば日米合同委員会について一言おっしゃってください。
- [A] いわゆるリベラル派の中に、日米合同委員会がオールマイティーみたいな事をいう人が出てきているんですが、これは違います。日米合同委員会の目的は明確で、米軍基地の運用をどのようにするか、それと日本の法律との関係がどうなってるかを決めるために作られている。だから、例えば日本を集団的自衛権で海外に派遣するといったものは、日米合同委員会では協議されません。
 - [Q] 防衛大学校で教鞭をとった経験はありますか。
- [A] 防衛大学校を作ったのは吉田首相ですけど、戦前のような思想を持つ学校にはしたくないという気持ちが強くて、学閥の一番の主流は慶応大学です。学長は慶応と京大で、東大はいません。東大は体制に順応する人たちの集まるところですから。

私の行った社会学部の学部長は、すべての教官の投票で選ぶんですね。任命では無いんです。私はその学部長になったんです。先生方が私のようなリベラルな考え方を支持したんですね。

- [Q] 中国の軍備拡大に対抗して日本も軍備を持つべきだという考えがありますが、そのような場合、どう考えられるでしょうか。
- [A] 領土問題を解決したら、日中が軍事的に衝突する可能性は無いですね。たとえば、北朝鮮は日本を攻撃しない。攻撃できないということではなくて、いろいろな選択肢の中で、攻撃しないほうが得だから攻撃しないんですよ。仮に中国が日本を取りたいと思ったら、それは基本的に日本の企業の経済力でしょう。中国の経済力があったら株買えばいいんですから、何も乱暴な軍事力を使わなくてよい。
- [Q] 沖縄の普天間飛行場閉鎖について、辺野古基地以外の方法を検討をする会議が玉木デニー知事によって開かれ、そのメンバーの一人と聞いています。普天間・辺野古の展望についてお話しいただきたい。
- [A] 私がその会議で言おうと思っていることは、1.沖縄の基地の重要性はすっかり変わった。辺野古移転を考えている時は、まだ沖縄を使って中国と戦おうということが可能な時代だけれど、今はそれが無くなったから、米国にとって沖縄の重要性は大きく変わった。2.米独間では、基地の軍事的重要性とそれを返した場合生じる経済・社会的利益を比較して、後者が大きいときには基地を返還して良い・返

還すべきと書いてある。この 2 つを提起しようと思っています。

- [Q] 天皇制を廃止するには、どうしたら良いと思いますか。
- [A] 天皇制をどうするか。制度は運用する人によって変わるんですよね。制度自体が持つ問題、ある人がちゃんとしていれば弊害が出ないという問題もある。

平成天皇は、終戦の時に荒廃した日本を見ていて、平和が 大切だと考えている。少なくとも、前の天皇が、日本という 国が平和国家・民主国家であるということを、海外の人に非 常に強い影響を与えたと思います。天皇制がどうこうとい うことでなくて、前の天皇陛下は、日本国民が象徴という形 で尊敬していた、それに値する人だったんでは無いかと思 います。今後どうなるかは分かりませんけど、前の天皇の 場合には、安倍政権に強く反発していたことは確かです。

- [Q] なぜ日本は米軍によって国を防衛することになったのか。
- [A] 米軍は守るような形にはなっていません。日米ガイドラインを見ると、「日本の防衛は自衛隊が主体的にやり、 米国は必要に応じ補助する」となっている。それを、いつの間にか日本国民は、アメリカ軍が守っていると思っている。
- [Q] 地位協定のせいで年間約 5000 億円多く支払うことが、なぜ破棄できないのか知りたい。
- [A] それは頑張る政府で無いということです。日本国民が頑張る政府を作らないということです。ある意味で闘おうと思った鳩山さんを追い出したのは、日本人ですから。外務省とか新聞社とかと一緒になって追い出したんですから。鳩山さんがとんでもない人間だと思っている人がおいでになるかもしれませんが、ツイッターで鳩山由紀夫というのをやってみてください、彼がいかに論理的なことを喋っているかということが分かります。
- [*Q*] 核兵器をなくすと軍事行動をしやすくなる、と言うことはないですか。
- [A] まず、米露中が核兵器を手放すことはありません。これが自分たちを守る最後の手段だと思っていますから。核が消滅することがない中でどうするか。「核を持っていない国を攻撃することをさせないようにすること」が重要なことではないかと思います。
- [*Q*] 長い間外交官を担ってきましたが、国家の独立の考え 方の弱い日本をご覧になって、どんな感想をお持ちですか。

[A] 私が外務省に入った時の先輩は、アメリカに追随すれば良いとだけ思っていた人達だけじゃないですね。昭和13年くらいに外務省に入った人たちは、アメリカと戦ったのだから、アメリカの言うことをそのままやったら日本が良くなるという発想が有るわけがない。

昭和 23 年から独立までに入ってきた層があるんです。英語ができるから、お金が欲しかったらアメリカ大使館や占領軍で働けばいいのに、ほとんど給与も無いような外務省に入ってきたんです。それはやっぱり、占領軍・アメリカに追随する体制ではなくて、日本外交をやりたいという人たちが入ってきたんですよ。その人達の影響を受けて、昭和29 年までに入ってきた人たちは、まだ自主を考えていた人たちです。

- [*Q*] 北朝鮮に対して、1965年の対韓国との条約に相当するものを、急いで持つことが必要でないかと思っています。
- [A] 私もそう思います。日本が行うべきことは北朝鮮との国交回復、それを北朝鮮外交の一番中心にすべきではないでしょうか。国交回復すれば、拉致の問題も自ずと解決できる可能性がある。国交回復しないで、拉致だけ解決しようとしても、それはなかなか難しい。

参加者の感想より

- * 孫崎先生の話は力強いですね。説得力がある。ありがとうございました。沖縄の辺野古新基地の建設、海の埋め立てに強く反対します。内地でもっと報道して欲しい。日本メディアがんばれよ!
- * 孫崎氏の本を読んだり、ラジオ放送で話を聞いていて ずっと関心を持っていたので、本日講演会に参加してとて もよかった。会場と対話しながら・・・・というスタイルは、相 互の意見が交わり魅力的であった。
- * 去年の4月まで文化放送木曜の朝6時から孫崎さんの時間があり楽しみに聞いていました。今日の舌鋒鋭さより幾分穏やかな話し方をしていたように思います。今、右の方に偏った人が出演していて聞くに堪えなくなっています。私達は不勉強だと実感しきり、読んでいても頭に残っていなかったりです。孫崎さんが活躍できるメディアつくりを訴えていくべきですね。
- * お話は、難しい点がいくつかあり、理解が追いつかないところがありました。資料は後で読んでみます。大変興味深いお話がたくさん聞けて、外交、平和問題を考える良い勉強ができました。
- * 初めて知ったことが有り、有意義であった。孫崎先生に教えてほしいこと。・日本は中立国になることはできないのでしょうか?・その際、自衛隊はどういう組織にしたらよ

いのか?・どういう課題があるでしょう。

* ソ連崩壊後の米の軍事戦略の転換と核兵器を持つことによってとるべき戦略について良くわかった。日本の政治、 言論界が2+2=4ではない危機感が伝わった。

* 日本が置かれている政治状況をくつがえすリベラルの

力の結集が今一つ弱いのが気がかりです。ここで政権を取り戻さないと安全保障のスタンスを変えることも不可能です。自由党の小沢先生が言っている野党共闘をもう一歩進めることが必要でしょう。

[投稿] 新天皇の「主権者観は」?

平成が終わり令和の時代が始まった。天皇の代位や改元など時代区分の本質的な要素でないという意見がある。筆者もそう思う。だが、2019年5月1日以降が令和と呼ばれる時代になったことも、憲法と法律の規定に基づく厳然たる事実だ。仮にも立憲主義を唱える人間ならば、好むと好まざるとにかかわらずその事実を受け入れなければなるまい。

令和の開始を祝うかどうかはまた別の話。国民の多数は「何はともあれ新時代が始まるのはめでたい」と感じているようだ。一定数の人は「改元などめでたくもなんともない」と改元奉祝フィーバーを白い目で見る。私自身は、令和時代の到来がめでたいかどうか判断できていない。

なぜか。新天皇の【主権者観】がまだつかみきれないから だ。それを端的に表すのが、国民をどう呼ぶかだと思って いる。

昭和天皇は「国民みな」と表現した。明らかに上からの物言いである。彼の頭脳に、明治憲法流の「主権者天皇観が強く刻み込まれていたからであろう。

次代の平成天皇が用いたのは「国民の皆さん」というフレーズである。彼は多感な思春期に日本国憲法の制定という大事件に遭遇した。その第一条に「天皇は日本国の象徴であり国民統合の象徴であって」「この地位は主権の存する日本国民の総意に基づく」とある。

憲法は、天皇の地位をも左右できるのが主権の存する国民だと言う。その「国民」統合の象徴が天皇であるとも言う。

天皇は何らかの仕方で国民を統合しうるのだろうか。だとすれば、天皇が国民の上に来て、国民が主権者であると言えなくなってしまう。象徴に国民を統合する力はないし、そんな力を持ってはならない。では国民統合の象徴とは何か。深い考察を重ねたに違いない。

2019(令和元) 年 6 月 25 日 中山小禿

注目すべきは彼が憲法尊重を繰り返し表明していたこと だ。憲法は日本が「平和主義に立ち・人権を尊重し・国民が 主権者である国」と定めている。

多様で個性的な主権者が互いに尊敬し合いながら国民と して一つにまとまっている-これは一つの理想状態であろ う。そんな望ましい状態の象徴たるのが天皇だ。

憲法の下では、天皇に国民を統合する力はない。統合している国民を象徴するのが天皇だ。憲法はそう読める。

だが、天皇が存在しているからと言って、理想的な状態が既に実現しているということではない。日米同盟の強化をみても、耐震や対テロ対策が未確立のままの原発再稼働を見ても、2000万円の預金がなければ老後の生活が危うい事実を見ても、国民全体が「平和で安全で豊かに暮らせる状態」とはほど遠い。

理想とは乖離する状況の下で、理想状態の象徴たるべき 天皇のなし得ることは何か。平和と福祉の確立を願って行 為するのが象徴としての公務である。それが彼の結論では ないかと推測する。

さて、日本国憲法の下で生まれ育った令和天皇の主権者 観はいかなるものだろうか。先代と同様かそれ以上に国民 主権の立場であってくれれば、そのときは新時代を祝おう と思う。それを占うのが、国民をどう呼ぶかだ。

「国民みな」か「国民の皆さん」か、まさかの「国民の皆 さま」か。それとも、凡人には思いも付かない新表現か。新 天皇の主権者観を窺わせる言葉として、大いに気になる。

初出:2019 年 5 月 8 日 朝日新聞への投稿 (不採用) 以後、読売・東京・赤旗にも不採用

事務局より_____

- ニュースの原稿を募集しています。寄稿は事務局 まで。
- ◆ 本会では「筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の 会」への賛同署名をお願いしています。

これまでの賛同者数 843 名 (2019 年 6 月現在) ● 9条の会ニュースの配布は、アドレスを登録されている方には電子メールで、それ以外の方には郵送しています。

お問い合わせ先

安田公三: TEL/FAX: 029-847-3884 武田 潔: e-mail: kiyogeta@yahoo.co.jp